

令和3年度食生活における実践的・体験的な活動の充実に向けた家庭科授業づくり
研修講座実施要項

- 1 対象校種
- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| 幼 | 小 | 中 | 高 | 特 | 教委等 |
| — | 249 | 349 | — | 549 | — |
- 2 目的 家庭科に関する専門性の向上を図るため、食生活における実践的・体験的な活動の充実に向けた授業づくりについて研修する。
- 3 育成指標 (教)授業計画、(教)授業実施、(教)評価、(教)授業研究・改善
- 4 期 日 令和3年8月24日(火)
- 5 会 場 やまぐち総合教育支援センター
(山口市秋穂二島1062 セミナーパーク内 情報・教科研修棟 食物実習室)
- 6 担 当 教育支援部 河埜雅代 (TEL 083-987-1190 FAX 083-987-0209)
- 7 日 程

時 間	内 容	講 師・指導助言者等
9:40～9:50	開講行事	
9:50～12:30	(講話・実習) 実践的・体験的な活動の充実に向けた指導の在り方 —調理実習及び教材作成を通して—	大和食品株式会社 代表取締役社長 本保圭一郎 総合教育支援センター教育支援部 研究指導主事 河埜雅代
13:30～14:20	(事例発表・研究協議) 実践的・体験的な活動の充実に向けた授業づくりの実際 —実践事例の検討を通して—	光市立島田中学校 教諭 杉山香織 総合教育支援センター教育支援部 研究指導主事 河埜雅代
14:30～15:50	(研究協議) 実践的・体験的な活動の充実に向けた授業づくりの工夫 —個に応じた指導をより一層充実させるために—	総合教育支援センター教育支援部 研究指導主事 河埜雅代
15:50～16:00	閉講行事	

※会場位置、欠席届及び講座実施に係る緊急情報等については、やまぐち総合教育支援センターのウェブサイト (<https://www.ysn21.jp/>) で御確認ください。ウェブサイトで確認ができない場合は、やまぐち総合教育支援センターへお問合せください。

8 その他

(1) 携行品について

実習及び研究協議で使用しますので、以下の物を御持参ください。

ア 米 (半合)

イ エプロン・三角巾・マスク・ふきん

ウ 実習材料費 (400円)

エ 「小学校学習指導要領解説 家庭編」又は「中学校学習指導要領解説 技術・家庭編」(平成29年告示)

オ 現在使用中の教科書

(2) 新型コロナウイルス感染症対策に関する対応について

ア 当日は、自宅で検温し来所してください。受付でも検温を実施し体調について確認します。

なお、熱がある場合や体調が悪い場合には参加を見合せてください。

イ 研修中は、マスクの着用をお願いします。

(3) 調理実習の実施について

現在のところ、感染予防対策を講じて実習を行う予定ですが、2週間前の感染状況を見て、実習を行うかどうかの最終判断をします。実習を行わない場合は、お知らせします。

(4) 昼食について

実習を行った場合、各自が調理したものを昼食として試食する予定ですので、昼食の準備は必要ありません。試食について不安がある方は、御相談ください。

(5) 食堂の利用について

セミナーパーク食堂は令和3年4月1日から営業を再開しています。メニュー等の利用に関する詳細は、「山口県セミナーパーク」ウェブサイトで御確認ください。